



2022年4月28日

各位

会社名 株式会社りそなホールディングス
代表者名 取締役兼代表執行役社長 南昌宏
(コード番号 8308 東証プライム)

2022年3月期 業績目標の修正に関するお知らせ

2021年11月9日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の当社連結業績目標を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、同日公表いたしました当社の2022年3月期 配当予想(期末:10円50銭、年間:21円00銭)につきましては、修正ございません。

記

1. 業績目標の修正について

2022年3月期 通期連結業績目標(2021年4月1日～2022年3月31日)

(金額単位:億円)

	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表目標 (A) (2021年11月9日公表)	1,450	59円66銭
今回発表目標 (B)	1,090	45円02銭
増減額 (B-A)	△360	—
増減率 (%)	△24.8	—
ご参考:2021年3月期実績	1,244	54円19銭

2. 業績目標修正の理由

第4四半期において、翌期以降のダウンサイドリスクを低減すべく、米国金利が急上昇するなかで、外国債券を中心に有価証券ポートフォリオの健全化を実施したこと、一部貸出先の債務者区分見直しに伴い、与信費用を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益が、前回発表目標を360億円下回る見込みとなりました。

詳細につきましては、決算発表時(2022年5月12日予定)にお知らせいたします。

(ご参考) 2022年3月期 配当予想

	第2四半期末 (実績)	期 末 (予想)	合 計
1株当たり配当金	10円50銭	10円50銭	21円00銭

※ 2021年11月9日に公表した配当予想から変動はございません。

(注) 上記に記載した目標値については、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績については、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おください。

【ご参考資料】

1. 連結損益の概要

- ・ 第4四半期において、米国金利が急上昇したことを受け、翌期以降の有価証券ポートフォリオ運営の柔軟性と健全性を確保する観点より、外国債券を中心に継続的に保有する合理性が乏しい銘柄について、その他有価証券の売却を実施したこと等から、債券関係損益（先物込）が、△509億円の損失計上となり、通期で前期比△680億円の△540億円となる見込みです。
- ・ また、与信費用が、第4四半期において、一部貸出先の債務者区分見直し等に伴い、△385億円となり、通期で前期比△15億円の△590億円となる見込みです。
- ・ 以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比△154億円の1,090億円となる見込みです。
- ・ なお、引き続き、収益・コスト構造改革に取り組むなか、コア収益（国内預貸金利益＋フィー収益＋経費）は、前期比＋126億円の1,290億円となる見込みです。

（金額単位：億円）

	第3四半期累計 （実績）	2022年3月期	
		今回見込	前期比
業務粗利益	4,761	6,020	△371
うち債券関係損益（先物込）	△31	△540	△680
経費	△3,094	△4,160	△4
実質業務純益	1,671	1,860	△380
株式等関係損益（先物込）	442	470	97
与信費用	△205	△590	△15
税金等調整前当期純利益	1,792	1,550	△293
親会社株主に帰属する当期純利益	1,265	1,090	△154
コア収益（※）	953	1,290	126

※ 国内預貸金利益＋フィー収益＋経費

2. 有価証券の評価損益の状況（グループ銀行合算）

（金額単位：億円）

	2021年12月末		2022年3月末	
	取得原価	評価損益	取得原価	評価損益
その他有価証券	46,516	6,015	41,595	5,212
債券	27,066	△79	29,401	△330
うち国債	9,322	△99	11,373	△244
株式	3,079	6,239	3,059	5,863
その他	16,370	△145	9,133	△320
うち外国債券	9,925	△229	5,625	△330
うち国内投信	6,407	53	3,468	△37
3 資産合計	25,655	△275	20,467	△613

※ 3 資産 = 国債 + 外国債券 + 国内投信

日本国債（10年）	0.070%	0.210%
米 国 債（10年）	1.5101%	2.3380%
日 経 平 均 株 価	28,791.71円	27,821.43円

3. 金融再生法基準開示債権の状況（グループ銀行合算）

（金額単位：億円）

	2021年12月末	2022年3月末
不良債権合計 (A)	4,742	5,382
破産更生債権等	560	536
危険債権	3,084	3,705
要管理債権	1,097	1,140
正常債権	399,302	401,471
金融再生法開示債権合計 (B)	404,045	406,853
不良債権比率 (A)/(B)	1.17%	1.32%

以上